

「ひろしまQuest」の取組状況について

〔令和2年11月30日〕
商工労働局

1 要旨

デジタルネイティブ層を主な対象としたAI人材開発プラットフォーム「ひろしまQuest」における今年度の取組状況について報告する。

2 取組状況

(1) e-ラーニング

- ・時間や場所にとらわれず、プログラミング未経験の初心者から経験者までレベルに合わせたAI学習が可能な超実践型オンライン講座として、昨年度からSIGNATE Questを広島県民向けに無償提供（受講者数 R元：436名、R2：282名（11/10時点））
- ・広島工業大学において必修科目化し、後期より、1年次全学部「AI・データサイエンス入門」として、「ひろしまQuest（e-ラーニング）」を導入

(2) ハンズオン勉強会

- ・データドリブンに行政課題や地域課題に取り組むシビックテックを目指し、「自治体職員及び近隣大学生向けのハンズオン勉強会」をオンラインで開催
- ・10月17日（土）及び11月14日（土）に、広島市、東広島市において、試行的に2会場同時に開催（参加者：各日30人程度）

(3) データ分析コンペティション

- ・実データを分析し、与えられた課題の予測や最適化などのAIモデルの精度を競う、データ分析コンペティションを開催
- ・第一弾は、(株)データスタジアムの提供によるプロ野球公式戦の実データを用いた、プロ野球の配球予測をテーマに開催（期間：4月28日～7月28日、総参加者：2,038人、総投稿：10,479件）
- ・開発したAIモデルを公表し、AIをより身近に感じてもらうため、元プロ野球選手とAIの配球予測対決を行う番組を配信（再生回数：1.3万回（11/10時点））



- ・第二弾は、実証プロジェクトのレモンコンソーシアムを主体とした「レモンを画像認識によりリンク付けするAIの開発コンペティション」を準備中